

2019年度

助産学専攻科

1年課程

地域に密着した
母子保健の発展と
充実に貢献する

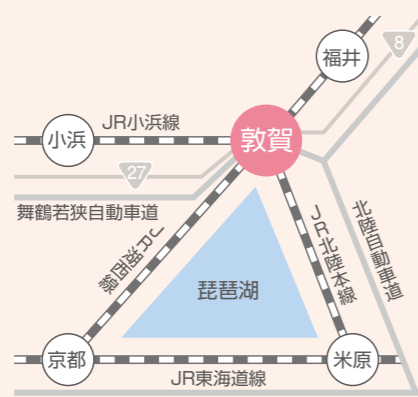


Access 敦賀市立看護大学 TSURUGA Nursing University

〒914-0814 福井県敦賀市木崎78号2番地1 TEL 0770-20-5500(代) FAX 0770-20-5548 URL <http://www.tsuruga-nu.ac.jp>

JR敦賀駅まで

京 都から…特急で51分・新快速で87分
名 古 屋から…新幹線+特急で66分



JR敦賀駅から 敦賀市コミュニティバスで 約14分

敦賀I.C.から 車で約12分



2019年 学生募集概要

基本理念

敦賀市立看護大学助産学専攻科は、豊かな教養と総合的な判断力、高度な専門的知識と実践力を有する人材を育成するとともに、地域に密着した母子保健の発展に貢献することを目指します。

教育目標

本専攻科では、基本理念を達成するため、次の5項目を教育目標とします。

- 人間の尊厳と生命に対する畏敬の念をもって、専門職である助産師に求められるニーズに即した援助が行える能力を身につける。
- 妊娠・分娩・産褥・新生児に関わる母子及びその家族等、女性の生涯にわたる健康を支援するための知識・技術を身につける。
- 助産に際しては、専門的な知識・技術を活用し、主体的に考え、安全・安楽で高度な助産が提供できる能力を身につける。
- 地域に密着した母子保健の発展と充実を志向し、保健医療チームにおいては他の関係者と連携・協働できる能力を身につける。
- 助産師としての専門性を高め、助産学を探究するための研究能力を身につける。

カリキュラム・ポリシー

- 広範で多様な専門知識と技術を獲得し、将来、自立して妊産婦を支える助産師を養成するため、「助産学基礎科目」・「助産学実践科目」の2領域を設けている。
- 専門知識と技術を体系的に学び実践能力を育成するために、学科目と実習を配置している。
- 助産の専門技術を対象に安全・安楽に提供できる能力を育成するために、演習科目を配置している。
- 「主体的に考え、発言する力」を身につけるため、アクティブ・ラーニングを取り入れている。
- 研究的視点を持ち、助産学を探究するための能力および姿勢を育成するために研究の科目を配置している。

アドミッション・ポリシー

本専攻科では、看護師としての基礎的能力に加え、次のような資質を有する人を求めます。

- 生命を慈しみ育むことへの情熱を持っている人
- 基本的な看護技術を提供する能力を身につけている人
- 助産学に関連の深い母性看護学・小児看護学に関心の深い人
- 主体的に学修する姿勢およびコミュニケーション能力を有している人
- 将来助産師として地域に貢献する意欲を持っている人

ディプロマ・ポリシー

本専攻科では、以下の知識と能力を取得した学生に修了証書を授与します。

- 助産師としての基礎的な知識・技術を修得し、将来、自立して妊産婦を支えることのできる実践能力
- 女性のライフサイクル各期におけるリプロダクティブ・ヘルスに関する支援が行える能力
- 豊かな人間性と高い倫理観を身につけ、専門職としての責務を果たせる能力
- 地域に密着して、母子保健の発展に貢献できる能力
- 保健医療チームにおいて多職種と連携・協働する能力
- 生涯にわたり自己研鑽し、資質の向上に努める能力

科目

区分	授業科目	単位数	
		必修	
助産学基礎科目	助産学概論	1	
	周産期医学Ⅰ(産科領域)	1	
	周産期医学Ⅱ(ウイメンズヘルス)	1	
	周産期医学Ⅲ(胎児・新生児学)	1	
	周産期の基礎科学(薬理・栄養学)	1	
周産期の生命倫理	1		
助産学実践科目	周産期の診断と技術Ⅰ(妊娠期・胎児期)	1	
	周産期の診断と技術Ⅱ(分娩期・胎児期・新生児蘇生法)	2	
	周産期の診断と技術Ⅲ(産褥・新生児期)	1	
	周産期の診断と技術Ⅳ(ハイリスク)	1	
	周産期における診断方法と診断技術	1	
	乳幼児の発育発達とケア	1	
	周産期の母子(児)関係とケア	1	
	地域母子保健論	1	
	助産管理Ⅰ	1	
	助産管理Ⅱ	1	
	研究	2	
	実習	助産学実習Ⅰ(妊娠期)	1
		助産学実習Ⅱ(助産・継続妊産褥婦のケア)	8
助産学実習Ⅲ(ハイリスク母子のケア)		1	
助産学実習Ⅳ(地域における母子保健活動)		1	
計(卒業要件単位数)		30単位	

専任教員紹介

教授 / 茂庭 将彦
 准教授 / 木下 珠希
 助教 / 窪田 裕子
 助教 / 田中 真穂

実習について

助産学実習は、福井県内の医療機関(病院・診療所・助産院)を中心とした4施設と県外2施設を実習施設としています。また、実習内容によっては敦賀市内の健康センターにおいても実習を行います。

取得できる資格

- 助産師国家試験受験資格
- 新生児蘇生法(NCPR)「専門」コース(Aコース)認定の資格

実習施設

- 市立敦賀病院(福井県敦賀市)
- 福井県済生会病院(福井県福井市)
- 医療法人産科・婦人科井上クリニック(福井県敦賀市)
- 神野レディースクリニック(滋賀県彦根市)
- しのはら産科婦人科医院(静岡県島田市)
- 瀧澤助産院(福井県敦賀市)
- 敦賀市健康センター(福井県敦賀市)

出願資格

一般入試

次の各号のいずれかに該当する女性で、かつ、看護師免許を有する者(受験資格を有する者を含む)

- 学校教育法(昭和22年法律第26号)第83条に定める大学を卒業した者又は平成31年3月卒業見込みの者
 - 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者又は平成31年3月までに修了見込みの者
 - 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者又は平成31年3月までに修了見込みの者
 - 学校教育法施行規則(昭和22年文部省令第11号)第155条第6号の規定により文部科学大臣の指定した者
 - 専修学校の専門課程(修業年限が4年以上であること、その他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。)で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者
 - 学校教育法第104条第4項の規定により学士の学位を授与された者、その他学士以上に相当する学位を有する者又は平成31年3月までに授与される見込みの者
- ※出願資格(6)により出願を希望する者に対しては、事前に出願資格の審査を行います。

社会人入試

- 一般入試の要件を満たし、かつ、満25歳に達し、3年以上の看護職歴を有する者

推薦入試

- 一般入試の要件を満たし、かつ、敦賀市立看護大学の学部生である者

入学定員及び募集人員

専攻	入学定員	募集人員		
		一般入試	社会人入試	推薦入試
助産学専攻科	8人	8人程度	若干名	若干名

試験日程等

試験区分	出願期間	試験期日	試験会場	試験科目	合格発表
推薦入試	平成30年7月30日(月)～8月6日(月)	平成30年8月27日(月)	敦賀市立看護大学	・面接(口頭試問を含む)	平成30年8月31日(金)
一般入試	平成30年9月18日(火)～9月26日(水)	平成30年10月6日(土)		・小論文・面接(口頭試問を含む)	平成30年10月12日(金)
社会人入試					

※その他の詳細は、学生募集要項(6月下旬発行予定)を参照してください。また、同時に本学ホームページでお知らせいたします。
 ※二次募集を実施する場合があります。実施する場合は、本学ホームページ等でお知らせいたします。

学費等納入金

助産学専攻科		敦賀市内の方(注1)	敦賀市外の方
学費	入学料	99,600円	199,200円
	授業料	535,800円	535,800円
諸経費(注2)	看護実習費	200,000円	200,000円
	学生保険料	4,500円	4,500円
納入額		839,900円	939,500円

(注1)敦賀市内の方とは、以下のいずれかに該当する方のことをいいます。
 ア 平成30年4月1日以前から引き続き敦賀市内に住所を有する方
 イ 平成30年4月1日以前から引き続き敦賀市内に1親等の親族又は配偶者が住所を有する方
 (注2)上記の他、テキスト代等の費用が必要です。